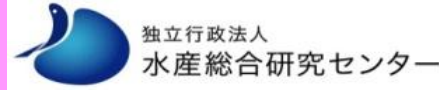


# 東日本大震災の漁港施設調査報告

災害に強い漁港づくりが大切です



独立行政法人水産総合研究センター 水産工学研究所 水産土木工学部

有事の際のオープンスペースの活用など、今回の震災で機能を発現した施設があります・・・



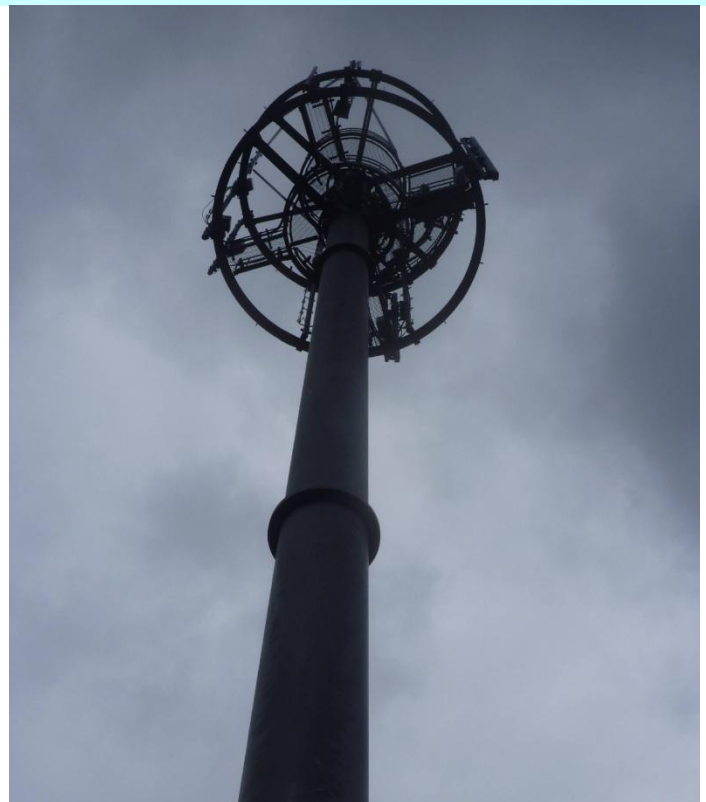
関上漁港の耐震性を強化した岸壁は、損傷を免れました。瓦礫置き場として活用されています。クレーンと比較して瓦礫の山の大きさが分かります。



山田漁港の岸壁背後にある漁港用地です。土地の少ない漁村にあって、ヘリポートとして活用されました。



気仙沼漁港は地盤が下がり、満潮時には岸壁が冠水します。この市場の屋上は、避難場所として当時1000人以上が津波から難を逃れました。



気仙沼の防災無線タワーです。震災直後に避難指示を伝達するなど、大変役立ちました。一方、防災無線が整備されていない地区も存在しました。